

ひたちなか市男女共同参画啓発紙

かがやく

第34号

2023.3

編集/発行

ハーモニーひたちなか
ひたちなか市女性生活課

ハーモニーひたちなか

消費生活 + ハーモニー展
を開催しました



ハーモニーひたちなかは、11月5日・6日の2日間、ひたちなか市産業交流フェアの会場において、消費生活団体と共に「消費生活+ハーモニー展」を開催しました。各団体による男女共同参画に関するシールアンケートや体験コーナー、性的マイノリティに関する啓発として、「トランスジェンダーのリアル展」を実施しました。会場には約4,000人の来場者がお越しになり、コロナ前と変わらない活気のあるイベントとなりました。

令和4年度ハーモニーひたちなかフォーラム開催 「防災のススメ ～みんなで考える、防災のこと」

講師：(株)茨城放送 アナウンス室長・防災士 菊地 真衣さん

11月17日、ワークプラザ勝田でハーモニーひたちなかフォーラムを開催しました。
今回の講師である菊地真衣さんは、地元FM放送で人気のアナウンサーとして活躍しております。
会場には、ファンの方々の姿もあり、明るい語り口と人柄から、人気のほどが分かります。

なぜ防災士の資格を取ったか…

平成27年の関東・北部豪雨の際、親族のお宅が被災したことで、「改めて自然災害の恐ろしさと自分の知識や認識不足を実感した。更に防災士資格を取っていた同僚が、突然出くわした災害現場で、落ち着いて学んだ知識を活かし、説得力のある報道をしていたことで、自分も自分なりの言葉で責任をもって皆さんに情報を発信していく義務がある」と強く感じたといいます。



「防災・減災」のために必要なことは…意識の変革。

災害の取材先でよく耳にするワードは「まさかこんなことになるなんて」です。しかし、災害立国日本では、一生のうち全く災害にあわずに暮らすことの方が難しいのが現状です。被害を最小限に抑えるには、「いつ来るか分からない」ではなく、「いつかは自分も災害に遭遇してしまうかも」という前提で“自分事”として日頃の準備をするのが大切です」と語りました。

また、「『備え』とは非常時をなるべく『平常時』に近づけること！ 東日本大震災の意識が薄れてきたいまこそ必要なことだ」とアドバイスをくださいました。今日からできる“自分事防災”のリストなど、誰にも困ってほしくない災害弱者も出たくないという真衣さんの本気の気持ちが伝わってくる講演会でした。

男女共同参画キャッチフレーズ表彰式を行いました

11月5日、ひたちなか市産業交流フェア会場である総合体育館地下アリーナにて、男女共同参画作品の表彰式が行われました。

応募作品232品の中から6作品が選ばれ、ひたちなか市長から表彰されました。その後、市消費生活センターの公式キャラクター「ちゃあくん」と一緒に記念撮影を行い、受賞者から笑顔が溢れました。

最優秀作

私らしさ、君らしさ 互いに守り 明るい未来へ (勝田第三中学校3年 碓井 優那さん)

優秀作

認める個性 捨てる偏見 共同参画社会 (勝田第三中学校1年 中村 琉聖さん)

認め合う あなたの「らしさ」と私「らしさ」 (勝田第三中学校3年 永井 楓馬さん)

佳作

「男女共同参画って何？」って
検索しなくても良い社会へ
(勝田第三中学校1年 寺門 和真さん)

助け合う 心と心が未来をつくる 男女共同参画で
(一般の部 永山 展子さん)

わたしはね いつも元気だ すごいでしょ
(美乃浜学園3年 田那辺 真央さん)

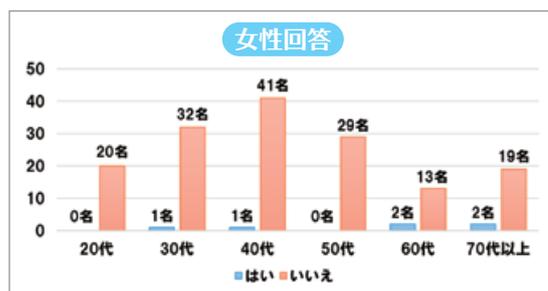


2022 男女共同参画意識調査アンケート

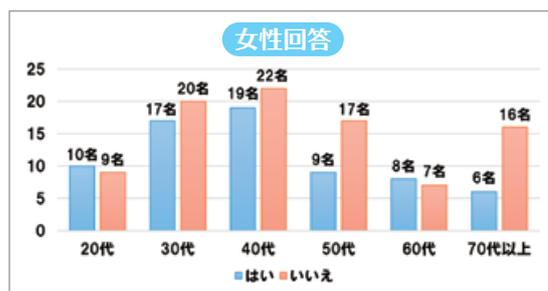
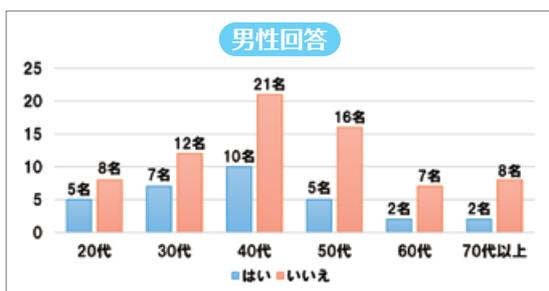
～あなたは無意識の思い込みをしていませんか～

ハーモニーひたちなかは、11月5日・6日に開催されました消費生活+ハーモニー展にて、普段の生活の中で、性別における役割や固定概念がどれだけ残っているかを調査目的として、来場者を対象に、アンケートを実施しました。

設問① 結婚して一人前。家事育児は女性がすべき。



設問② 保育園からの緊急連絡先は女性(母親)になっていることに問題意識がない。



アンケート調査から

アンケート結果より、設問①のように「いいえ」が多く、ジェンダー平等の意識が高まりつつある部分もありますが、設問②のように「はい」が多く、男女ともに固定概念の思い込みがある部分も見受けられました。男女共同参画に対する「理想」と「現実」の違い、無意識の思い込みは社会の現実を映していることが読み取れました。

市政ふれあい講座「中学生のジェンダー教育」を聞いて

12月9日、ハーモニーひたちなか会員を対象に、教育委員会指導課を講師として招き、ふれあい講座を開催しました。13名の参加者は中学生に戻ったように、講師からスライドによる授業を受けました。家庭科授業の一場面や掃除の場面のイラストの中から、先生や生徒たちの言動・行動など気になるものを見つけました。参加者が数人ずつで話しあうと、気になることがたくさん見付き、「気づくこと」が大切だと感じました。

講師は自身の息子の例を出して、社会に残っているジェンダーが幼少期の子どもに刷り込まれることに気づいた上で、人間の固定観念の土台が形成される青少年期までに、男女が尊重し合える・個人が自由に生きる社会を作るための教育が重要だと話してくださいました。

参加者からの質問も、インクルーシブ教育やマイノリティの方を招いての授業を挙げて、中学生が受ける教育に熱い関心を示しておりました。多くの人に体験してもらいたい、分かりやすく充実した講座でした。



消費生活+男女共同参画合同講座～香り楽しむ紅茶の淹れ方～を開催

講師：M's Tea Room 吉田 真穂さん

9月30日、ふぁみりこらぼにて、消費生活+男女共同参画合同講座「香り楽しむ紅茶の淹れ方」が開催され、16人が参加しました。参加者は、講師の吉田さんの話に耳を傾け、紅茶の効能や紅茶の美味しい淹れ方を学び、上手に紅茶を淹れていました。参加者からは、「紅茶の淹れ方次第で、味がこんなにも違うんだということが実感できて良かったです」など、紅茶の淹れ方をマスターし、ケーキと一緒に味わいながら、優雅な時間を過ごしました。



防災への備えについて ～生活の中でのローリングストック～



ローリングストックとは、普段から食べたら買い足すを繰り返すことで確実に備蓄する方法です。



【買い足す際に押さえておきたいポイント】

- ① ある程度日持ちする …………… 1週間で確実に消費するなら半年からでも良い。
- ② 日常の食事に取り入れやすい …………… ちょっとしたおかずや缶詰などを選ぶ。
- ③ 常温保存ができる …………… 購入するときに保存方法を確認する。
- ④ そのまま食べられる …………… 個包装・温め調理不要などを確認する。

● おすすめの備蓄食 ▶ レトルトおでん、ツナ缶、おかゆ・雑炊等

ひたちなか市に住んでよかったこと

- 大きな災害が少なく、住みやすいと思う。(30代男性)
- ひたち海浜公園があり、花々がきれい。(30代女性)
- 大きなショッピング施設があり、買い物がしやすい。(60代女性)
- お魚やほいしいもなどおいしい食べ物がいっぱいある。(30代男性)



そのような景色を眺めながら、今日も平和な一日が過ぎていく。

寒くなると大島公園のため池に白鳥が飛来。急に鳴き声あげて、バタバタと水面を飛ぶように一点に向かって行く。パンの入った袋を抱えたおばさんが池に現れた。そのおばさんを覚えていたのだろうか、それともパンの匂いを感じたのだろうか、おばさんの所に寄っていく。おばさんは楽しそうにポンポン投げ始める。

編集者の
つぶやき

「かがやく」の
バックナンバー
はこちら

